

発行日：2004年4月9日（ほぼ月刊）
発行：中野区区長室基本構想担当
〒164-8501東京都中野区中野4-8-1
電話03-3228-5572

☆メールマガジンや基本構想改定に関するご意見・ご連絡は下記アドレスへ
seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp
☆メールマガジンのバックナンバーをご覧になりたい方はこちらへ
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/magazine.html>
☆現在のの中野区基本構想（昭和56年制定）をご覧になりたい方はこちらへ
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kg028.html>

■もくじ

- ◇ 中野区基本構想審議会が答申
 - ◇ 【答申で描く「ものさし」シリーズ】第1回 持続可能な活力あるまちづくり
 - ◇ 編集後記
-

■中野区基本構想審議会が答申

—おもな内容をご紹介します—

昨年2月から審議を続けてきた中野区基本構想審議会（会長・武藤博己法政大学教授）は、4月7日に中野区長に「基本構想に盛り込むべき内容について」の答申を提出しました。

答申の検討にあたっては、審議会のもとに区民145人からなる「基本構想を描く区民ワークショップ」を設置し、その提案内容を参考としました。また、将来像の達成状況を示す「ものさし」を設定するなど、具体性や実現可能性を重視した内容になっています。

◎区民と区の普遍的な共通の目標を設定

答申は、「区民と区がめざす方向」「10年後の中野の姿」「将来像の実現をめざして」の3章から構成されています。

まず、区と区民の普遍的な共通の目標として「私たちは、人の権利を守り尊重します。あわせて、個性を大切にするとともに、公共の利益を考えて生活していきます」など5項目からなる区民憲章を提案しています。

その上で、基本理念を「地域社会の再生と共生を進める」「暮らしやすく生活の質が高められる『生活都市』を築く」こととし、具体的な将来像は、「持続可能な活力あるまちづくり」、「自立してともに成長する人づくり」、「支えあい安心して暮らせるまち」、「区民が発想し、区民が選択する新しい自治」の4つの柱（領域）ごとに描いています（表参照）。将来像の達成状況を測るため、「ものさし」として具体的な指標も設定しています。

◎10年後の中野の姿

さらに、こうした将来像が、10年間でどこまで達成されるかが「10年後の中野の姿」として表わされています。

たとえば「区民が発想し、区民が選択する新しい自治」の領域では、区民が地域で参加できるさまざまな活動や自治のしくみがあり、一人ひとりがいつでも気軽に社会参加できるとしています。また、地域のさまざまな組織によってニーズに即応した質の高い公共サービスが提供されているとしています。こうした取り組みによって、まち全体が自治を進めようとする活動に満ちあふれ、人々が笑顔で心豊かに暮らせる地域が少しずつ実現していると描いています。

◎実現へ向けた取り組み

最後に、こうした将来像を実現するための取り組みについて、次のように述べられています。

▼持続可能な活力あるまちづくり

…各駅周辺地区の計画的な整備やユニバーサルデザインのまちづくり、区内産業の活性化のための支援など。区民のまちづくりへの参画や環境配慮の取り組みの実践など。

▼自立してともに成長する人づくり

…子育て支援ネットワークづくりの促進や、地域に開かれた学校運営、区立学校の適正規模・適正配置の実施、男女共同参画のための環境づくりなど。

▼支えあい安心して暮らせるまち

…区民や事業者などとの協力による総合的な相談援助とケアマネジメント体制の確立や、健康増進・要介護状態の予防を進めるための取り組みなど。

▼区民が発想し区民が選択する新しい自治

…公・民の領域の見直しによる役割や権限の移譲、サービスの新たな担い手の育成支援・基盤整備など。

◎将来像に対応した「ものさし」を設定

答申に盛り込まれた「まちの将来像」と、その達成度を測る主なものさし（＝指標）は、次のとおりです。

★領域＝「持続可能な活力あるまちづくり」

☆将来像：

（１）産・学・遊・住の機能が職住接近のなかで調和され、人々の活力のもとでいきいきと暮らせるまち

（２）一人ひとりが環境に配慮し、快適な暮らしの文化をともに育てる安全なまち

☆ものさしの例：

・区内商店数・従業者数、区内事業所数・従業者数

・緑被率

・資源化率 など

★領域＝「自立してともに成長する人づくり」

☆将来像：

（１）家庭を基本に地域全体で子どもをはぐくみ、豊かな地域コミュニティが形成されているまち

（２）子どもから大人まで能力をはぐくみ生かしながら地域のなかでのびやかに暮らせるまち

☆ものさしの例：

・区の審議会のうち女性の割合

・不登校児等の割合

・ファミリーサポートセンターの協力会員数 など

★領域＝「支えあい安心して暮らせるまち」

☆将来像：

（１）人々の尊厳ある日常生活を維持し、支えあう地域社会

（２）すべての人が、健やかに、安心して日常生活を維持できるまち

☆ものさしの例：

・1年間に地域活動などに参加した区民の割合

・「健康である」と思う区民の割合

・65歳区民の健康余命 など

★領域＝「区民が発想し、区民が選択する新しい自治」

☆将来像：

（１）地域を基盤に、区民自らまちづくりに取り組むまち

（２）「小さな区役所」の実現を通じて、質の高い行政を実現するまち

☆ものさしの例：

・意見や要望が区政に反映されていると思う区民の割合

・住民税収納率等

・ずっと住み続けたいと思う区民の割合 など

◎全文は、まもなくホームページに

区は、答申を参考に、基本構想と（仮称）新しい中野をつくる10か年計画の素案づくりを進めていきます。

同答申は、4月下旬から区役所1階・区政資料センター、各地域センター、図書館に備えるほか、全文はまもなく中野区ホームページ上のPDFファイルでご覧いただけます。（現在工事中です。もうしばらくお待ちください）

■【答申で描く「ものさし」シリーズ】第1回 持続可能な活力あるまちづくり

答申の中では、将来像の実現度合いを示すさまざまなものさしを設定していますが、今号では、4つの領域のうち、「持続可能な活力あるまちづくり」の達成度を示す「もの

さし」の詳細をご紹介します。

「持続可能なまちづくり」（まちづくり、環境、産業など）では、次の5つを設定しています。

★ものさし① 「区内商店数と従業者数・区内事業所数と従業者数」

利便性の高い立地条件とさまざまな人材を活かした産業が盛んになっているまち

の姿を示すものさしになります。現在は商店数3,553、その従業者23,918人

（平成14年度）、事業所数15,163、その従業者122,057人（平成13年度）

ですが、増加をめざします。10年後には、商店数を4,800（従業者28,000人）、

事業所数を20,000（従業者160,000人）を目標値として設定しています。

★ものさし② 「緑被率」

水とみどりの豊かさが感じられる快適なまちの姿を示すものさしになります。平成

10年度の調査では9.5%でしたが、今後増加をめざします。10年後には、10%

以上にしていくことを目標としています。

★ものさし③ 「資源化率＝資源回収量/（ごみ量＋資源回収量）」

区民一人ひとりが環境を大切に資源の循環に努め、地球環境への負荷を減

らす生活を営んでいる姿を示すものさしになります。平成14年度は19.61%で

すが、さらに増加をめざします。10年後には、30%程度としていくことを目標に

しています。

★ものさし④ 「狭あい道路（私道を含む）のうち、区が拡幅整備した率」

災害に強く整然とした都市基盤整備の進展状況を示すものさしになります。平成

14年度は16%ですが、さらに増加をめざします。10年後には、26%程度にして

していく目標です。

★ものさし⑤ 「中野区地域危険度で総合危険度が4以上の地区数」

総合危険度は、建物倒壊危険度・火災危険度・避難危険度の総和を5区分にラン

クづけしたもので、災害に強いまちの状況を示すものさしとなります。平成14年度

は全85地区中7地区ありましたが、将来はゼロ地区をめざします。10年後には、4

地区以内にすることを目標としています。

■編集後記

春は新しい始まりのシーズン。みなさんの中にも、職場や家庭で、大きく環境が変わった方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

審議会の答申を受け、基本構想の検討も、いよいよ新しい段階に入ります。これからの区案づくりに向け、ますます厳しく暖かいご意見をお待ちしております。（^/）

※アドレスの変更、配信中止のご連絡も下記アドレスへどうぞ。

seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp